

土づくり(1区画当たり)

3月24日～26日、以下の肥料を入れ、マルチビニールを掛けました

トマト

牛糞堆肥:約5リットル
硫酸カルシウム:約200g
苦土石灰:約150g

堆肥(やまぶき):約700g
鶏糞:約2kg
配合肥料:約400g

ナス

牛糞堆肥:約5リットル
硫酸カルシウム:約200g
苦土石灰:約150g

堆肥(やまぶき):約700g
鶏糞:約4kg
配合肥料:約800g

ピーマン・ししとう

牛糞堆肥:約5リットル
硫酸カルシウム:約200g
苦土石灰:約150g

堆肥(やまぶき):約700g
鶏糞:約2kg
野菜の配合肥料:約400g

トウモロコシ

牛糞堆肥:約5リットル
鶏糞:約2kg

堆肥(やまぶき):約700g
化成肥料:約200g

バジル・インゲン・モロヘイヤ・キュウリ

牛糞堆肥:約2.5リットル
苦土石灰:約80g

堆肥(やまぶき):約700g
鶏糞:約2kg

※:ナスは約40cmの溝を掘り、その底に上記肥料の半分を入れ、土をかぶせ、残り半分の肥料を表土20cmと混ぜました



- **窒素N・リン酸P・カリウムK**
 - 窒素は葉や莖を大きくする肥料です
 - リン酸は実を多くし、実入りをよくする肥料です。
 - カリウムは、根を強くする肥料です。
- **硫酸カルシウム**
 - 長く、沢山の实をならすピーマン、なす、トマトには病気に強くなるよう硫酸カルシウムを入れています。
 - カルシウムは植物の細胞と細胞とを強固に結びつける働きがあるので、丈夫な葉と根を作ります。
 - 硫黄成分が含まれていますが、これは作物の生理作用(発根・芽吹きなど)を活発にする効果があるといわれています。
- **配合肥料**
 - 配合肥料とは、野菜作りのための様々な肥料が混ぜられているものです。
 - 配合肥料の中には、魚かすなどのアミノ酸成分も含まれています。これは野菜のうまみとなる肥料です。
- **堆肥**
 - 堆肥は土を柔らかく、保水力をつけるために入れます。(団粒化)
 - 牛糞・落ち葉・コーヒーがらなど様々な有機物で作られた堆肥があります。
- **苦土石灰**
 - 土のPhを下げる効果があります。
 - 苦土成分は植物が光合成するとき必要な葉緑素の重要な構成成分なので欠乏すると葉が黄色くなったり、尻ぐされ実が発生するといわれています。

マルチについて

マルチとは、根を覆う(mulch)という意味の言葉が語源の農業用資材です
マルチは地温管理、保湿、防虫、雑草の防除、泥はねの防止等の目的で使われます
マルチビニールには、複数の色がありますが、色によってその効果が変わります

透明:地温上昇

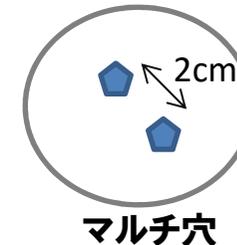
黒: 地温上昇抑制、雑草の防除

銀: 地温上昇、防虫

POMONAでは、春の早い時期に種まきや苗の定植をする際や、秋から冬にかけて地温を高めたい時にマルチを使いますので、透明のものを利用しています

トウモロコシの種まき

- トウモロコシは30cm間隔で穴が配置されているマルチを掛けて、種まきをする
- 種はマルチの一穴に**2粒**まく
これは発芽後、より良く成長している方を残して片方を間引くため
2粒の種はくっつけず、2cm程度離す
- 使う道具
 - 空き缶



種まきの手順

- 1) 空き缶でマルチの穴があいている箇所の土を押し、約1cm程度へこませ
- 2) 土をへこました穴に2粒トウモロコシの種を入れる
- 3) 通路の土をすくい、種に土を掛け、手で軽くおさせる
この時に土はマルチビニールと同じ高さにそろえる

今回は空き缶を使っていますが、底が平らでマルチの穴に入るサイズであれば何を使ってもよいです
空き缶は底が平らではなく、へこんでいるものもあるので、形状を確認してください

のらぼうについて

アブラナ科の野菜

江戸東京野菜の一つ

江戸時代初期から多摩地方や埼玉地域で栽培されてきた野菜

ビタミン、カルシウムをバランスよく含む

食べ方:野菜炒め、味噌汁、胡麻あえ 等

